

事業名称	下水汚泥の新たな能力を発掘し、りん等の有用物回収をめざす炭化汚泥の活用事業
事業種別	機能高度化促進事業(新技術活用型)
事業主体	滋賀県
実施箇所	琵琶湖流域下水道湖南中部浄化センター
実施期間	平成15年度～平成17年度
事業目的	<p>本県では処理レベルの高度化をめざして超高度処理の導入を計画しているが、これに伴い増加する維持管理費の削減が大きな課題となっている。</p> <p>このため、超高度処理における処理費用のうち大きなウェイトを占めるオゾン+生物活性炭プロセスにおける経費削減につながる有機物負荷の軽減を目的として、炭化汚泥の水処理・汚泥処理への適用可能性について検討を行う。</p> <p>また、炭化汚泥の吸着能力向上のために行う酸処理過程で溶出するりんの回収をめざす。</p> <p>環境ホルモンの除去等処理水の安全性の向上をめざす。</p>
事業内容	<p>炭化汚泥を生物反応槽に投入することにより処理水および汚泥系の返流水の有機物削減効果を検討する。</p> <p>炭化汚泥の投入およびりん回収についてシステム化を図る。</p>
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部下水道建設課 tel:077-528-4221



炭化汚泥製造過程

脱水ケーキ 炭化炉(ロータリーキルン) 炭化汚泥

炭化汚泥の能力向上過程

炭化汚泥 酸処理 炭化汚泥2

溶出液 りん回収
炭化汚泥2 附活処理 炭化汚泥3

炭化汚泥の利用方法の検討

炭化汚泥と炭化汚泥3について

- 1)脱水助剤として・・・汚泥返流水の有機物負荷削減
- 2)水処理プロセスでの直接投入・・・処理水中の有機物負荷削減
- 3)還元用微粉炭の代替品としての利用
- 4)その他